

禁煙科学

Vol. 17(01), 2023. 01



今月号の目次

【連載】

禁煙科学 最近のエビデンス (2023年1月 KKE320)

KKE320 「米国のがんセンターではコロナ蔓延下において禁煙治療のリモート化が進んだ」

舘野 博喜 1

【連載】

週刊タバコの正体 (2023年1月 No. 732-735)

奥田 恭久 6

禁煙科学 最近のエビデンス 2023/01

さいたま市立病院館野博喜

Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われるものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、併記の原著等をご参照ください。

目次

KKE320 「米国のがんセンターではコロナ蔓延下において禁煙治療のリモート化が進んだ」

KKE320

「米国のがんセンターではコロナ蔓延下において

禁煙治療のリモート化が進んだ」

Sarah D Hohl等、Nicotine Tob Res. 2023 Jan 5;25(2):345-349. PMID: 35778237

<https://academic.oup.com/ntr/article/25/2/345/6626063?login=true>

→ほんの10年前まで、米国国立がん研究所（NCI）指定のがんセンターのうち、禁煙治療を提供していたのは6割のみであった。

→2017年にNCIはがんセンター禁煙構想（C3I）を立ち上げ、52のがんセンターが資金提供を受け、エビデンスに基づく禁煙治療を通常のがん診療に組み入れた。

→Covid-19の流行により、がん診療や禁煙治療の流れが混乱したが、リモートによる禁煙治療は有用なものとなった。

→今回コロナ蔓延前後での禁煙治療の提供状況の変化を調べた。

→半年ごとに34のがんセンターから報告された進捗を、2019年1-6月、2020年1-6月、2021年1-6月についてまとめた。

→実施された禁煙治療や紹介の変化（電話やビデオでのカウンセリングなどを含む）を調べ、次いでCovid-19により最も影響を受けた禁煙治療活動について調べた。

→2019年から2021年にかけての変化をMcNemarの均質性検定で解析した。

→各年の禁煙治療サービスごとの提供割合は下記であった（*：統計学的に有意な変化あり）。

	2019年	2020年	2021年	P値
ビデオカウンセリング		18%	59%	0.006*
電話支援（Quitline）への紹介	56%	68%	91%	0.000*
電話カウンセリング	59%	79%	94%	0.002*
メールプログラム（SmokefreeTXT）	27%	47%	56%	0.006*
個人カウンセリング	68%	82%	94%	0.219
集団カウンセリング	32%	32%	29%	0.727
他のメール/携帯プログラム	12%	12%	24%	0.344
禁煙治療薬	85%	88%	88%	1.000
自動応答システム（TelASK/IVR）	12%	15%	15%	0.500
ネットプログラム（Smokefree.gov等）	38%	35%	29%	0.581

→電話カウンセリングを行った32のがんセンターのうち、費用請求したのは7センターのみであった。

→26センターは診療報酬に関わらず提供を続けると回答し、6センターは診療報酬しだいであるとした。

→ビデオカウンセリングは、20施設が提供し、10施設が料金を請求し、12センターは保険会社からの償還に関わらず提供を続けると答えた。

→禁煙治療を行うための活動のうちで、Covid-19に多大な影響を受けた活動として、2020年には下記の5点を過半数のセンターが挙げている。

- 1) 治療施設の拡充
- 2) 喫煙者の治療への組み入れ
- 3) 治療のながれの変更
- 4) 医療者の士気と熱意の維持
- 5) 新規スタッフの雇用

→一方、2021年に過半数のがんセンターが挙げたのは1) 2) のみであった。

→4) については、2020年には53%のがんセンターが挙げていたが、2021年には12%となり、有意に減少した。

→過半数のセンターが、Covid-19の影響をあまり受けなかったと回答した活動としては、禁煙治療対象患者の特定、医療者へのトレーニング、禁煙カウンセリングの提供、患者のフォローアップ、患者記録の更新、薬物治療の提供、プログラム評価のための患者記録のレポート作成、外部サービスへの紹介（QuitlineやSmokefree TXTなど）、現行スタッフの維持、であった。

→職員を一時解雇や一時休職にしたと回答したセンターは、2020年の8.8%から2021年には2.9%に減少した。

→タバコ治療専門家の常勤換算仕事量は、1.9から1.7にわずかに減少した。

→米国がんセンターでは新型コロナ流行の2年間に禁煙治療のリモート化が進んだ。

<選者コメント>

新型コロナの流行により、禁煙治療体制が受けた影響と変化について、米国がんセンターからの報告です。

流行前の2019年1月から流行中の2021年6月までのデータであるため、まだバレンクリン出荷停止の影響はほぼなかった時期と思われます。患者の組み入れや診療規模拡大、スタッフの士気の維持などが影響を受け、電話やビデオを使ったカウンセリング、メールプログラムなどが急速に増えていました。

本邦でも今回の流行を機に、禁煙外来のオンライン診療が可能となりましたが、海外では選択肢もより多そうです。Society for Research on Nicotine and Tobacco（ニコチン・タバコ研究学会）の機関誌「NICOTINE & TOBACCO RESEARCH」の最新号は、新型コロナがニコチン使用に与えた影響についての特集号になっています。ほとんどがアクセスフリーですので、ご興味があればご覧いただければと思います。

<https://academic.oup.com/ntr/issue/25/2?login=true>

遅ればせながら、本年もよろしくお願いいたします。

<その他の最近の報告>

KKE320a「4大人種系列340万人による喫煙と飲酒の遺伝素因の解析」

Gretchen R B Saunders等、Nature. 2022 Dec;612(7941):720-724. PMID: 36477530

KKE320b「過去30年間における受動喫煙による世界の疾病負荷の変遷：GBD研究の系統的解析」

Chunxia Zhai等、Sci Total Environ. 2023 Mar 1;862:160677. PMID: 36481152

KKE320c「総喫煙量とCOPDの存在がCovid-19の侵襲的人工呼吸器使用と関連する」

Mayuko Watase等、Int J Infect Dis. 2022 Dec 20;128:121-127. PMID: 36563958

KKE320d「喫煙者のコロナ抗体保有率が低いのは抗体産生力が低いのではなく罹患率が低いのである：ドイツの縦断研究」

Felix Günther等、Int J Environ Res Public Health. 2022 Dec 17;19(24):16996. PMID: 36554876

KKE320e「非ニコチン・ハーブタバコの化学特性に関するレビュー」

Rania T Abdel Rahman等、ACS Omega. 2022 Dec 6;7(50):45797-45809. PMID: 36570239

KKE320f「簡易呼気CO測定器では牛乳摂取後には呼気水素増加に伴い5時間程でCO高値を示す：日本」

Kiho Miyoshi等、J Smok Cessat. 2022 Dec 9;2022:6714601. PMID: 36568903

KKE320g「加熱式タバコのみ使用者は遠隔診療禁煙治療による禁煙率が高い：日本の後方視的解析」

Akihiro Nomura等、BMJ Open. 2022 Dec 20;12(12):e063489. PMID: 36600419

KKE320h「うつ症状を有する喫煙者への禁煙効果はバレニクリン>ブプロピオン：カナダの中規模RCT」

Helena Zhang等、Nicotine Tob Res. 2022 Dec 15;ntac288. PMID: 36520964

KKE320i「多忙な救急外来における禁煙面接とNRT治療は有効：RCT」

Steven L Bernstein等、Ann Emerg Med. 2023 Feb;81(2):209-221. PMID: 36585318

KKE320j「動機づけメールに機械学習を用いるのではなく友人や家族にも禁煙を勧めさせる介入で禁煙効果が高まった：RCT」

Jamie M Faro等、JAMA Netw Open. 2023 Jan 3;6(1):e2250665. PMID: 36633844

KKE320k「AIを用いた会話型プログラムによる禁煙介入に関するメタ解析」

Linwei He等、Nicotine Tob Res. 2022 Dec 12;ntac281. PMID: 36507916

KKE320l「NRTに運動を加えると禁煙効果は高まるか：短期効果は高まる（系統的レビュー）」

Hui Chen等、Front Psychiatry. 2022 Nov 24;13:1053937. PMID: 36506415

KKE320m「術前禁煙介入の効果に関する系統的レビュー」

Eva Gavilan等、Anesth Analg. 2023 Jan 1;136(1):43-50. PMID: 36534716

KKE320n「関節リウマチ患者への禁煙介入に関するメタ解析」

Maria A Lopez-Olivo等、PLoS One. 2022 Dec 15;17(12):e0279065. PMID: 36520847

KKE320o「喫煙の血清アポリポ蛋白濃度への影響に関するメタ解析」

Alba Romero Kauss等、Toxicol Rep. 2022 May 17;9:1150-1171. PMID: 36518393

KKE320p「電子タバコ使用と心筋梗塞の関連にすいてのメタ解析」

Akash Sharma等、Int J Cardiol. 2023 Jan 15;371:65-70. PMID: 36087629

KKE320q「電子タバコの健康影響と機序に関するレビュー」

Maria Esteban-Lopez等、Toxicol Rep. 2022 Jun 16;9:1357-1368. PMID: 36561957

KKE320r「癌診断後の禁煙の意義と機序に関するレビュー」

Srikumar Chellappan、Curr Oncol. 2022 Dec 17;29(12):9956-9969. PMID: 36547196

KKE320s「COPD患者への禁煙介入についての叙述的レビュー」

Sulamunn R M Coleman等、J Cardiopulm Rehabil Prev. 2022 Dec 14. PMID: 36515573

KKE320t「妊娠中のNRT治療の安全性に関する叙述的レビュー」

María Morales-Suárez-Varela等、Int J Environ Res Public Health. 2022 Dec 23;20(1):250. PMID: 36612572

KKE320u「猫の口腔扁平上皮癌の原因のひとつはタバコ煙曝露：文献レビュー」

Inês Sequeira等、Vet Sci. 2022 Oct 11;9(10):558. PMID: 36288171

KKE320v「世界の歯科医の禁煙介入に関する知識や実践の系統的レビュー」

Harsh Priya等、Tob Use Insights. 2022 Dec 27;15:1179173X221137218. PMID: 36601000

- KKE320w「 β -カリオフィレンを喫煙時に吸わせると上腕一足首脈波伝播速度が改善する：日本の小規模RCT」
Kazuya Yamada等、Exp Ther Med. 2022 Dec 8;25(1):57. PMID: 36588810
- KKE320x「文献検索による加熱式タバコと紙巻の有害性比較」
Dejan Kusonic等、Subst Use Misuse. 2023 Jan 11;1-8. PMID: 36630411
- KKE320y「高齢者のコロナ再感染は過去喫煙者のほうが現喫煙者より多い」
Wataru Ando等、Front Public Health. 2022 Nov 22;10:985494. PMID: 36504971
- KKE320z「グトカを筆頭に各種嗅ぎタバコや受動喫煙は頭頸部癌のリスクを高める：インドの症例対照研究」
Devyani Gholap等、Int J Cancer. 2023 Feb 1;152(3):374-383. PMID: 36054453
- KKE320aa「各種タバコ製品使用と高血圧は関連しない：インドの横断調査」
Barsha Gadapani Pathak等、J Family Med Prim Care. 2022 Sep;11(9):5776-5784. PMID: 36505644
- KKE320ab「禁煙で降圧効果は見られないが6年間の死亡率は下がる：フィンランドのコホート」
Asla Suutari-Jääskö等、PLoS One. 2022 Dec 28;17(12):e0279443. PMID: 36576905
- KKE320ac「非喫煙高齢者では血清コチニン濃度と認知障害に用量依存的関連がある」
Zhenmei Fu等、Front Neurosci. 2022 Nov 24;16:1080066. PMID: 36507320
- KKE320ad「60歳以下の喫煙者では禁煙3か月で肺機能FEV1が改善する：ギリシャの小規模観察研究」
Nikolaos Trakas等、Addict Health. 2022 Apr;14(2):87-95. PMID: 36544517
- KKE320ae「世界144か国の未成年者における喫煙開始年齢の過去10年の変遷」
Shuhui Xing等、Front Public Health. 2022 Nov 28;10:1054842. PMID: 36518585
- KKE320af「福島原発事故に遭い被曝のリスクが高いと考える人ほど事故後に喫煙や飲酒を開始した：日本」
Tomohiko Ukai等、Prev Med Rep. 2022 Nov 14;30:102054. PMID: 36531090
- KKE320ag「地方在住の非喫煙婦人では受動喫煙と不眠が用量依存性に関連し遺伝子多型も影響する：中国」
Ming Jin等、Environ Int. 2022 Dec;170:107569. PMID: 36219910
- KKE320ah「妊娠初期に禁煙した女性の4人に1人は出産1年以内に再喫煙している：東北大学コホート」
Keiko Murakami等、J Epidemiol. 2023 Jan 5;33(1):8-14. PMID: 33907065
- KKE320ai「周産期自殺未遂のリスク因子のひとつが喫煙：日本」
Tetsuya Akaishi等、JAMA Netw Open. 2023 Jan 3;6(1):e2250661. PMID: 36633845
- KKE320aj「受動喫煙の多い非喫煙高齢者はフレイルの割合が高い」
Zhenmei Fu等、Front Psychiatry. 2022 Dec 15;13:1095254. PMID: 36590628
- KKE320ak「屋内喫煙可の家では空気中のニコチン濃度が20倍高い：欧州9か国調査」
Elisabet Henderson等、Environ Res. 2023 Feb 15;219:115118. PMID: 36566961
- KKE320al「三次喫煙曝露実験では尿中にニコチン代謝物は検出されるがタバコ特異的ニトロソアミンは検出されなかった」
Kelly Pratt等、Nicotine Tob Res. 2023 Jan 7;ntad002. PMID: 36617255
- KKE320am「禁煙の意思なく電子タバコを開始した喫煙者は高率に禁煙する：ITC4か国調査より」
Karin A Kasza等、Addiction. 2023 Feb;118(2):340-352. PMID: 36110040
- KKE320an「IQOSは清掃状況によらず吸い方次第で紙巻より有害物質が多くなる」
Ola Ardati等、Tob Control. 2023 Jan 6. PMID: 36609493
- KKE320ao「加熱式タバコ使用者は紙巻き同様に糖尿病の割合が高い：日本の労働者4万人の横断調査」
Huan Hu等、Acta Diabetol. 2022 Dec 17. PMID: 36527503
- KKE320ap「2022年日本の紙巻き・加熱式タバコ使用率：使用者の2割は非使用とも回答した（日本のネット調査）」

- Satomi Odani等、Prev Med Rep. 2022 Oct 25;30:102031. PMID: 36531095
KKE320aq「愛知歯科医師会会員の紙巻き喫煙率11.5%加熱式8.5%で非喫煙者は加熱式タバコのリスク理解が不十分」
- Yukie Oya等、Healthcare (Basel). 2022 Nov 22;10(12):2346. PMID: 36553870
KKE320ar「各種タバコ製品使用と口腔疾患の関連：電子タバコは歯磨き時の出血と関連（米国コホートより）」
- Marushka L Silveira等、JAMA Netw Open. 2022 Dec 1;5(12):e2245909. PMID: 36484986
KKE320as「各種タバコ製品ごとの細菌叢の違い：気道感染源の可能性も」
- Suhana Chattopadhyay等、Environ Res. 2022 Dec 30;220:115205. PMID: 36592812
KKE320at「バレニクリンにより幻聴を生じた双極性障害の一例」
- Vivian W L Tsang等、BMC Psychiatry. 2023 Jan 3;23(1):4. PMID: 36597062
KKE320au「燃やした胡椒を吸入して服役中のタバコ離脱症状に対処した一例」
- Jeremy Weleff等、Case Rep Psychiatry. 2022 Dec 9;2022:5908769. PMID: 36530582
KKE320av「タバコ煙中のニコチン以外の成分がMAO-Aを介してニコチン依存を増強する：ネズミの実験」
- Guanglin Liu等、Front Neurosci. 2022 Nov 24;16:1058254. PMID: 36507317
KKE320aw「ニコチン依存の治療にデキストロメトルファンが有効な可能性がある：ネズミの実験」
- Eagle Yi-Kung Huang等、Nicotine Tob Res. 2022 Dec 15;ntac287. PMID: 36520961
KKE320ax「ニコチン依存形成に関しては未成年のネズミでの研究が不足している」
- Ranjithkumar Chellian等、Nicotine Tob Res. 2022 Dec 9;ntac280. PMID: 36482774
KKE320ay「5-10年保存した未使用および使用後電子タバコ溶液の化学成分分析：ニッケルが高濃度」
- Monique Williams等、Int J Environ Res Public Health. 2022 Dec 16;19(24):16931. PMID: 36554813
KKE320az「加熱式タバコ喫煙者は唾液中ラクトフェリンとリゾチーム分泌が少ない：日本」
- Yukihiro Mori等、Healthcare (Basel). 2022 Dec 31;11(1):132. PMID: 36611591
KKE320ba「加熱式タバコ煙抽出物は肺癌幹細胞を誘導する可能性がある：細胞実験（日本）」
- Naoya Hirata等、Toxicol Rep. 2022 Jun 7;9:1273-1280. PMID: 36518441
KKE320bb「IQOS煙曝露により肺に急性ストレス反応が惹起される：ネズミの実験（日本）」
- Shin Koike等、Antioxidants (Basel). 2022 Nov 25;11(12):2329. PMID: 36552537
KKE320bc「gloの研究をまとめると紙巻きタバコより低害で健康影響が低減されている：BAT社」
- Sharon Goodall等、Toxicol Rep. 2022 Jun 25;9:1426-1442. PMID: 36561950

【週刊タバコの正体】

Vol.54 第1～第4話

2023年01月

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 54

(No. 732) 第1話 タバコのない国

ーニュージーランドの一生タバコを吸えない法案を紹介...

令和5年(2023年)を迎えました。新年の始まりにあたり、気持ちも新たに3学期の学校生活に取り組んで下さい。そして3月には進級および卒業できるよう、しっかりとがんばって下さい。

さて、世界では持続可能な社会をめざして17の目標を掲げたSDGsが動き出していますが、その3番目の「すべての人に健康と福祉を」のなかに「たばこを規制する条約を守ろう」という項目がある事を知っていますか。

(No. 733) 第2話 全館禁煙

ー公共施設等の敷地内禁煙に続きホテルも全室全館禁煙へ...

下のグラフは、ある大手ホテル会社が調査した禁煙・喫煙に関するアンケート結果(回答者数:約1万4千人)を示しています。ホテルを選ぶ際“禁煙の部屋”を選ぶと答えた人が圧倒的多数でした。タバコを吸わない人が大多数の現代では当然の結果だと言えますが、なによりもタバコのニオイがしみついた部屋で一夜を過ごすなんて想像するだけで不愉快になりませんか。それに、もしかするとニオイに含まれるタバコ成分のせいで頭痛や吐き気を経験する人もいるかも知れません。

(No. 734) 第3話 子どもの受動喫煙

ー家族に喫煙者がいると同居家族の受動喫煙をゼロにするのはほぼ無理...

喫煙者がいる家庭では、タバコを吸わない家族が受動喫煙をしてしまう機会が多くなります。とりわけ乳幼児や子供がいる場合はその影響をうけやすくなります。

その影響度を調査した結果が左図のグラフです。タバコの煙に含まれるニコチンは体内で“コチニン”という物質に変化して尿中に排出されるので、尿中のコチニン濃度を調べると、受動喫煙の程度がわかるわけです。千葉市内で行われた調査では1500人の児童のうちコチニンの濃度が高かったのは65人で、そのほとんどが同居家族に喫煙者がいたという結果だったそうです。喫煙者がいる家庭の子供たちは、ほぼ確実に受動喫煙の影響を受けているのです。

(No. 735) 第4話 いずれは禁煙

ー喫煙者の多くは、できればをやめたい、やめた方がいいと考えている...

このグラフは厚生労働省が行っている「国民健康・栄養調査」の喫煙に関連する項目のデータを分析して「喫煙を止めたい」と思っている人の割合を示しています。

男女別・年齢別にまとめられていますが、平均すると「止めたい」と思っている人は30～40%、「本数を減らしたい」人は20～30%で、両方合わせると60%程度の喫煙者は「タバコを吸わないようにしたい」と考えている事がわかります。

男女とも50代を超えるとタバコを止めたいと考える人が増えていきますよね。この年齢になると喫煙による健康への影響が出始め、気になるようになるのではないかと思います。



Serial number 732

第1話

週刊 タバコの正体

令和5年(2023年)を迎えました。新年の始まりにあたり、気持ちも新たに3学期の学校生活に取り組んで下さい。そして3月には進級および卒業できるよう、しっかりとがんばって下さい。



3-a すべての人に健康と福祉を
すべての国で、たばこを規制する条約で決められたことが実施されるよう、必要に応じて取り組みを進める。



さて、世界では持続可能な社会をめざして17の目標を掲げたSDGsが動き出していますが、その3番目の「すべての人に健康と福祉を」のなかに「たばこを規制する条約を守ろう」という項目がある事を知っていますか。

人々の健康を守るためにタバコを規制するのは重要とされているのですが、それを実践するよう出来事がありました。昨年、なんとニュージーランドで2009年以降に生まれた人への紙タバコの販売を恒久的に禁止する「一生タバコを吸えない法案」が可決しました。この法律が施行されれば、段階的に喫煙者がなくなり、将来ニュージーランドはタバコのない「国」になりそうです。「すべての人に健康を」を実現する効果的な対策だと思います。じつは、マレーシアでも2005年以降に生まれた人にタバコを販売する事を禁じる法案が検討されているそうです。

2023年はタバコのない国が誕生する新しい時代のスタートかも知れません。そして、それは持続可能な社会への新しい一歩かも知れません。

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

産業デザイン科 奥田恭久



Serial number 735

第4話

週刊 タバコの正体



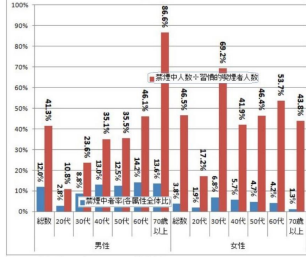
このグラフは厚生労働省が行っている「国民健康・栄養調査」の喫煙に関連する項目のデータを分析して「喫煙を止めたい」と思っている人の割合を示しています。

男女別・年齢別にまとめられていますが、平均すると「止めたい」と思っている人は30～40%、「本数を減らしたい」人は20～30%で、両方合わせると60%程度の喫煙者は「タバコを吸わないようにしたい」と考えている事がわかります。

男女とも50代を超えるとタバコを止めたいと考える人が増えていきますよね。この年齢になると喫煙による健康への影響が出始め、気になるようになるのではないかと思います。

そして、下のグラフには実際に禁煙中だとみられる人の割合が示されています。男性総数(左端のグラフ)を例にすると、調査に参加した喫煙・非喫煙をあわせた男性全員のうち「以前は喫煙していたが1か月以上吸っていない人」が12.0%で、現在喫煙者の41.3%に相当していると言えます。

平均すると喫煙者の40%以上が禁煙中だという結果をどう感じますか。



なんとなく「いずれ、タバコはやめる事になる」という時代になって来ているように感じませんか。興味本位で吸い始めてしまうと、いずれ禁煙するのに苦労する事になるのです。初めから吸い始める必要ありません。

産業デザイン科 奥田恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

毎週火曜日発行

URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



日本禁煙科学会HP

URL: <https://www.jascs.jp/>

※日本禁煙科学会ホームページのアドレスです。

※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。



ふえる笑顔 禁煙ロゴ

筋肉の疾患で体の不自由な浦上秀樹さん（埼玉県在住）が、口に筆を取って書いてくださった書画です。「けんこうなしゃかい ふえるえがお」という文字を使って『禁煙』をかたどっています。

※拡大画像は日本禁煙科学会ホームページでご覧頂けます。

※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。

URL : https://www.jascs.jp/gif/egao_logo_l.jpg



編集委員会

編集委員長 中山健夫

編集委員 野田隆 東山明子 高橋裕子

日本禁煙科学会

学会誌 禁煙科学 第17巻(01)

2023年(令和5年)1月発行

URL : <https://www.jascs.jp/>

事務局：〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町 948-4

めぐみクリニック（未成年者禁煙支援センター）内

E-mail : info@jascs.jp